

<都市住民等との交流を実施している事例>

○棚田の復旧を通じた都市住民との交流

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岐阜県高山市 滝			
協定面積 5.0ha	田 (97%)	畑 (8%)	草地	採草放牧地
	水稻	アワ、ヒエ、野菜		
交付金額 103万円	個人配分			25%
	共同取組活動 (75%)	農地管理費		59%
		道・水路管理費		9%
		その他		7%
協定参加者	農業者 6人、棚田保存会(構成員7人)			

2. 取組に至る経緯

本集落は、高山市の東部、標高 750 ～ 800 m に位置し、棚田が存在する約 5ha の集落である。農用地の傾斜が 1/4 と急勾配であるため、平地の農業と比較すると農作業も重労働であり、担い手の高齢化も原因となって耕作放棄地が増加し、平成 11 年度には集落内農用地の 35 % が耕作放棄地となっていた。このような状況の中、集落では農村景観の保全や水田の保水機能を維持するため、棚田を再生しようとする機運が高まり、平成 13 年に集落内の農業者が中心の「棚田保存会」と市職員による「棚田再生プロジェクトチーム」が設立され、中山間地域等直接支払制度を活用し、棚田の復旧と保全活動に取り組むことをしてきた。

3. 取組の内容

集落協定の参加者、棚田保存会及び行政等関係者により耕作放棄地の草刈り等を実施し、棚田の復旧と保全活動を継続的に実施している。一方、復旧した棚田の一角を利用して、地域内外から親子を募集し、田植えや稲刈りなどの農作業体験や餅つきやしめ縄作りといったイベントを実施して都市住民との交流を図ってきた。

また、棚田で生産した農作物の付加価値向上を図るため、「棚田天然米」、その米にあわ、ひえを混ぜた「三穀米」、「棚田にんじん」、「寒干しダイコン」など特産品の開発とブランド化を推進し、高山市の観光名所である朝市等で販売している。



草刈りの共同作業



親子で農業体験

[集落の将来像]

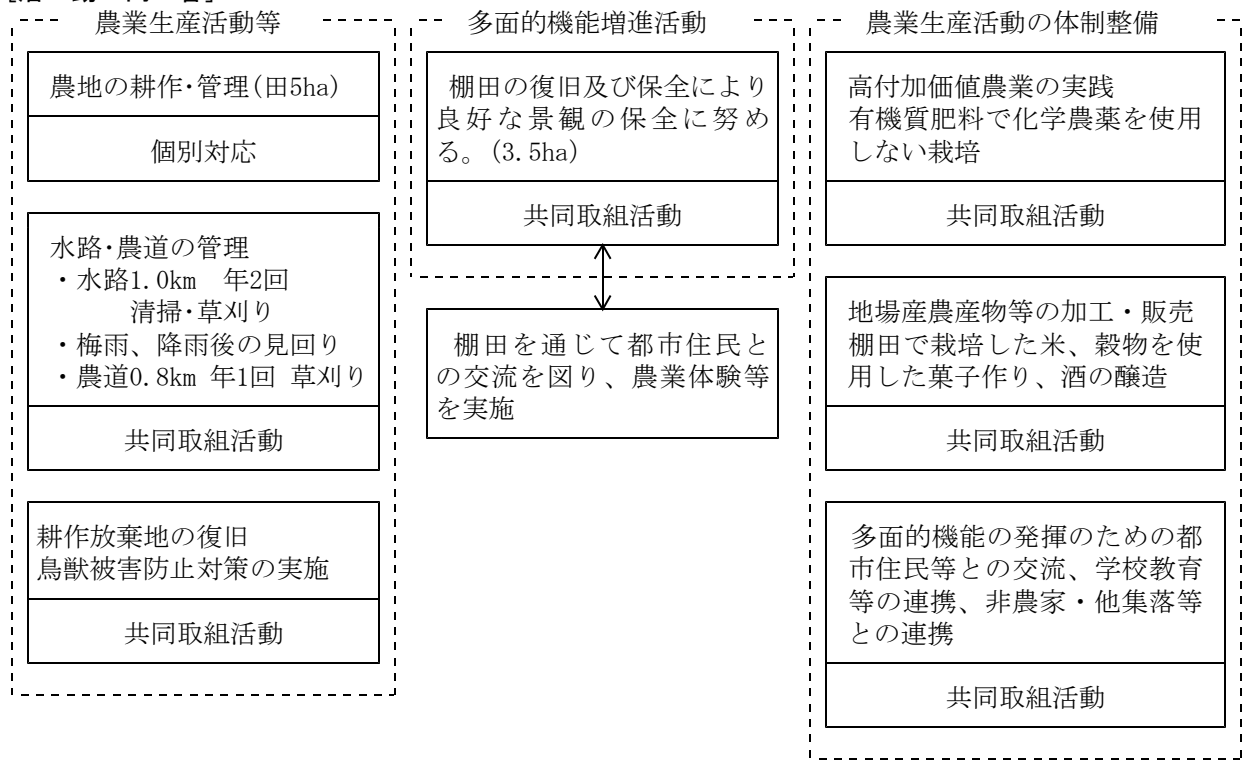
滝集落の棚田の耕作と周辺環境の整備を行うと共に、都市住民との交流活動を展開し、棚田の多面的機能と農山村景観を保全する。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・耕作放棄地をすべて復旧すると共に、遊休農地を解消する。
- ・有機質肥料を利用した高付加価値の水稲や雑穀を栽培し、販売する。
- ・都市住民との交流活動を展開する。

[活動内容]



集落外との連携

○集落内の農家に農作業委託等ができない場合には、集落外の農家と連携を図り、農作業委託等を推進する。

4. 取組による変化と今後の課題等

集落及び棚田保存会と行政が一体となった棚田の復旧及び保全活動により、これまで増加傾向にあった耕作放棄地を解消することができた。また、棚田の保存活動を通じて農業体験や凧揚げ大会などの集落外の人々を対象にしたイベントも企画、実施され、都市住民との交流が促進された。棚田で生産される農作物も購入者の好評を得ている。こうした様々な取り組みが行われたことにより地域の活性化に結びつけることができた。

[平成20年度までの主な成果]

- 水路、農道等の保全活動の実施 水路 1,000m、農道 800m
- 保健休養機能を活かした都市住民との交流 0.5ha (目標 0.5ha)
- 高付加価値型農業の実践 0.5ha (目標 1.0ha)